

孤独な復讐が始まる

恋に悩む高校生たちの物語だと思って見ていたら、青春という言葉からはるか隔たった、あまりにもダークで狂気的な世界観に震撼していた。これは凄い。少なくとも日本映画で、このレベルに達した学園ドラマを私は他に知らない。

黒沢清 (映画監督)

# 彼女ひとりひ

福永朱梨

金井浩人  
美知枝  
中村優里  
三坂知絵子  
櫻井保幸  
榮林桃伽  
堀春菜  
田中一平  
山中アラタ

中川奈月 監督作品



SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018  
SKIPシティアワード受賞

田辺・弁慶映画祭2019  
俳優賞受賞(福永朱梨)

TAMA NEW WAVE  
2019(ある視点部門)

ニッポンコネクション  
2019(ドイツ)

ちば映画祭  
2019

脚本・編集・監督: 中川奈月 | プロデューサー: ムン・ヘソン | 撮影: 芦澤明子 | 照明: 御木茂則 | 録音: 芦原邦雄 | 整音: 板橋聖志 | 編集協力: 和泉陽光 | 音楽: 大嶋柊 | 美術: 野澤優 | 衣装: 古月悦子  
助監督: 杉山修平 | スチール: 明田川志保 吉田留美 | 特別指導: 篠崎誠 | 宣伝美術: 菅原睦子 | 配給宣伝: ムービー・アクト・プロジェクト | 配給協力: ミカタ・エンタテインメント  
2018/ カラー/ ビスタ/ 60分 ©2018「彼女ひとりひ」

誰からも  
愛されず、  
蔑ろに  
されてきた  
少女の、  
孤独な復讐が  
幕をあける



**死の淵から舞い戻った澄子。教師との関係を隠す・秀明。  
そしてある少女の幻影が彼らを狂わせる…**

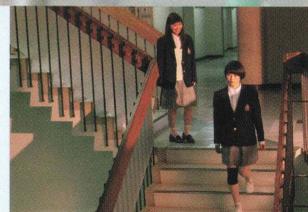
高校生の澄子(福永朱梨)はある日橋から身を投げた。しかし、死ねずに生還する。父は引っ越そうと言うが自分の意思で残ることを選び、1年留年して学校に戻ってきた澄子は、同級生となった幼馴染の秀明(金井浩人)を執拗に脅迫し始める。身を投げる原因を作ったのは秀明であり、秀明が教師である波多野(美知枝)と密かに交際していると言う秘密を握っていたのだった。その行為は日々エスカレートしていくが、そこには過去の出来事、そして澄子の家族に関わる、もうひとりの幼馴染・聡子の幻影があった…。

**濱口竜介監督につづく、新たな才能!  
中川奈月の初長編作にして驚嘆の傑作!**

監督は、立教大学を卒業後、NCWで映画制作を開始。立教大学院映像身体学科で本作「彼女はひとり」を制作、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018の国際コンペティション部門にてSKIPシティアワードを受賞するなど多くの映画祭に招待される。卒業後は、真利子哲也監督や濱口竜介監督を輩出した、東京藝術大学大学院映画専攻に進学し、黒沢清監督に師事。修了制作の「夜のそと」では、北米最大の日本映画祭「JAPAN CUTS2020」Next Generation部門に選出されるなど、今後最も活躍が期待される新鋭監督のひとりである。

**主演:福永朱梨(「本気のしるし」)  
撮影:芦澤明子(「散歩する殺人者」「海を駆ける」)が参加!**

本作品は立教大学大学院の修了制作として撮影された学生映画であるにも関わらず、脚本の完成度の高さから、撮影には黒沢清監督、深田晃司監督、沖田修一監督の作品などを多く手掛ける芦澤明子カメラウーマンが参加。主演には、カンヌ国際映画祭へ出品、絶賛された深田晃司監督「本気のしるし」出演の福永朱梨。誰にも愛されぬ孤独と悲しみから、他人を傷つけ、暴走していく澄子を繊細、かつ圧倒的な力で演じ、田辺・弁慶映画祭2019では俳優賞を受賞。澄子に執拗に責められ、疲弊していく秀明を、「さらさら眼鏡」主演の金井浩人が演じ、他に「牝猫たち」の美知枝や、「ミス・ノイズィ」の三坂知絵子、「幸福な囚人」の山中アラタなど、個性的な面々が揃った。



福永朱梨 金井浩人 美知枝 中村優里 三坂知絵子 櫻井保幸 榮林桃伽 堀春菜 田中一平 山中アラタ

脚本・編集・監督:中川奈月|プロデューサー:ムン・ヘソン|撮影:芦澤明子|照明:御木茂則|録音:芦原邦雄|整音:板橋聖志|音楽:大嶋柊|美術:野澤優|衣装:古月悦子  
ヘアメイク:渡邊結花 高木菜月 市川奈津妃 野尻七衣|助監督:杉山修平|制作進行:町田瞳|演出助手:古月悦子 野澤優|撮影助手:大塚勇人|照明助手:田村優貴|録音助手:  
尾山祥祐 相樂滋嵩|撮影応援:下田麻実 藤原里歩|録音応援:板橋聖志 小池利幸|制作応援:多賀祐輔|車両:今野雅夫|スチール:明田川志保 吉田留美|特別指導:篠崎誠  
配給宣伝:ムービー・アクト・プロジェクト配給協力:ミカタ・エンタテインメント 2018/ カラー/ビスタ /60分 ©2018 「彼女はひとり」 <https://mikata-ent.com/movie/884>



12.4(土)より 狂気のロードショー

当日一般1,500円/会員1,200円/大専・シニア1,100円/高校生以下800円

横浜 R16 長者町5丁目交差点沿  
**シネマリン**  
045-341-3180  
[www.cinamarine.co.jp](http://www.cinamarine.co.jp)

